

5月中の県内での被害届受理件数

3件

「電話で『お金』詐欺」発生状況

令和2年5月中

熊本県警察本部 生活安全企画課

「電話で『お金』詐欺」

1 被害の種別

番号	類型	発生日	受理日	被害額(円)	交付手段	被害者性別	被害者年齢
①	キャッシュカード詐欺盗	令和2年5月3日	5月7日	キャッシュカード2枚 (後に50万円払出)	手交	女性	84
②	架空料金請求	令和2年5月2日	5月7日	149,600	ATM	女性	53
③	預貯金	令和2年5月12日	5月12日	キャッシュカード2枚 (払出なし)	手交	女性	86

2 被害の概要

①	被害者方の電話に警察署の刑事を名の男から「あなたの銀行口座からお金が引き出されている。お手元のキャッシュカードは一時的に封印しなければならない。」との電話があり、その後、自宅に来た警察官を装った男の指示に従い、自分名義のキャッシュカード2枚と暗証番号を書いたメモを入れ、男から「封筒を封印する必要がある。」と言われ、印鑑を取りに行った際に、封筒をすり替えられ、キャッシュカードを盗まれたものです。その後、同キャッシュカードが使用され現金50万円が引き出されています。
②	被害者の携帯電話に料金未納を知らせるショートメールが届き、メールに記載された電話番号に電話したところ、男から「サイトの利用料金が未納で、料金を払わなければ法的措置を取る。」と言われたことから、銀行のATMを利用して現金149,600円を相手が指定した口座に振り込みだまし取られたものです。
③	被害者方にデパートの店員を名の女から「あなたのカードを使って6万円の洋服の買物をされた方がいます。」との電話があり、買物の心当たりがない旨を伝えたところ、その後、警察官や全国銀行協会の職員を名の男から相次いで電話があり、全国銀行協会の職員と名の男から「キャッシュカードを悪用されている。新たにキャッシュカードを作る必要がある。旧キャッシュカードを受け取りに行く」等と言われ、自宅に来た全国銀行協会職員と名の男にキャッシュカード2枚を手渡し、だまし取られたものです。その後、犯人を警察官が逮捕したことから現金の引き出しはありませんでした。

「電話で『お金』詐欺」累計

種別／区分	認知件数		増減数	増減率	被害総額(円)		増減額	増減率
	R2.1～5	H31.1～R1.5			R2.1～5	H31.1～R1.5		
電話で『お金』詐欺合計	18	27	-9	-33.3%	21,234,934	51,491,346	-30,256,412	-58.8%
オレオレ	3	5	-2	-40.0%	6,600,000	14,400,000	-7,800,000	-54.2%
預貯金	5	0	5	-	3,556,000	0	3,556,000	-
架空料金請求	4	14	-10	-71.4%	6,534,600	33,007,000	-26,472,400	-80.2%
融資保証金	4	4	0	0.0%	3,544,334	2,062,831	1,481,503	71.8%
還付金	0	1	-1	-100.0%	0	949,515	-949,515	-100.0%
金融商品	0	0	0	-	0	0	0	-
ギャンブル	0	0	0	-	0	0	0	-
交際あっせん	0	0	0	-	0	0	0	-
その他	0	0	0	-	0	0	0	-
キャッシュカード詐欺盗	2	3	-1	-33.3%	1,000,000	1,072,000	-72,000	-6.7%

注 「電話で『お金』詐欺」の10分類の詳細は別に掲載しています。

熊本県警では、「特殊詐欺」「振り込め詐欺」の名称を「電話で『お金』詐欺」に変更しました。